

協会だより(第5号)

一般社団法人 栃木県バスケットボール協会

〒320-0074 宇都宮市細谷町674-3 MK昌和事務所2F
TEL・FAX028-643-7117

1 定時代議員会報告(2019.6.29:県総合教育センター)

2019年度定時代議員会が開催されました。主な内容は、2018年度の事業報告と収支決算書の承認と定款施行規則の制定についてでした。また、2019年度の事業計画と収支予算書も報告されました。

収支決算では、法人化して3年目で約113万円の黒字を計上することができました。これについては、法人化に伴う組織改革が順調に推進されていると思われ、今後に大きな励みとなりました。

さて、今回の代議員会で制定した定款施行規則についてですが、今まで定款に必要な規則については、それぞれに細則を作って運用してきました。しかし、それでは必要に応じて細則を作らなければなりません。そこで、それらの細則を一本化して施行規則として運用することで定款との整合性を取ることもでき運用しやすくなります。

特徴として、第2章組織の中に第7節裁定委員会および規律委員会を設置し違反行為に対して調査、審議等の機能を明確にしました。第3章所属団体では第2節加盟チームにおいて加盟料や加盟チームの権利および義務について、第4章選手でも同様に加盟料や選手の権利および義務について明確にしました。第9章懲罰では「裁定規程」「規律規程」を設け、懲罰の種類等明確にしました。

この施行規則によって栃バ協の組織や運営基本について知ることができ、開かれた協会として認知されることと思えます。

2 大会結果

(1)県内大会

①第2回社会人オープントーナメント大会(4/7~28)

男子:優勝 GREAT DIPPERS 2位 白鷗大学
3位 BREMEN 4位 瀧乃原クラブ
女子:優勝 TBC 2位 女盛
3位 bisco 4位 SCRATCH

②第2回社会人レディース交歓会(4/13)

参加チーム:栃木オールスターズ・BBC・EARLY・Crow
FMC.AQUA・マロニエMC・烏山マミーズ・Berry's

※栃木オールスターズは、東地区交流大会へ出場

③第2回社会人O-40関東ブロック県予選会(4/13)

優勝 FMC.AQUA 2位 烏山マミーズ
※FMC.AQUAは、関東ブロック大会に出場

④県高校総体兼関東大会予選(5/11~19)

男子:優勝 宇工高 2位 文芸附高
3位 宇北高 4位 小山高
女子:優勝 作新高 2位 白鷗足高
3位 宇中女高 4位 文星女高

⑤県中学校春季大会(5/31~6/2)

男子:優勝 鬼怒中 2位 一条中
3位 豊田中 4位 明治中
女子:優勝 陽南中 2位 陽東中
3位 一条中 4位 都賀中

⑥インターハイ県予選会(6/15~23)

男子:優勝 文芸附高 2位 宇工高
3位 小山高 4位 宇北高
女子:優勝 白鷗足高 2位 作新高
3位 宇中女高 4位 文星女高

※男女とも優勝校は、鹿児島インターハイに出場

⑦天皇杯・皇后杯県代表決定

男女ともに白鷗大学が1次ラウンドに出場

⑧県中学校総体(7/26~28)

男子:優勝 一条中 2位 豊田中
3位 鬼怒中 4位 明治中
女子:優勝 陽南中 2位 一条中
3位 陽東中 4位 姿川中

※男女ともに、1・2位は関東大会に出場

(2)関東大会・全国大会

①第1回全日本社会人選手権大会関東ブロック予選会(2/2・3)

男子:BREMEN 2回戦 HONDA Nut'z 1回戦
女子:TBC 2回戦 女盛 1回戦

※大会規定により、TBCは関東6位で全国大会へ出場

②第1回全日本社会人選手権大会(鳥取3/16~18)

女子:TBC 1回戦

③関東高校男子大会(6/1・2)

Aブロック:宇工高 1回戦
Bブロック:文芸附高 準優勝

④関東高校女子大会(6/8・9)

Aブロック:作新高 2回戦
Bブロック:白鷗足高 準優勝

⑤鹿児島インターハイ(7/28~8/2)

男子:文芸附高 1回戦
女子:白鷗足高 1回戦

⑥関東中学(8/6~8)

男子:一条中 2回戦 豊田中 1回戦
女子:陽南中 2位 一条中 1回戦

※女子陽南中は全国大会(和歌山県)に4年連続出場



8/14、4年連続全国大会出場をお祝いするために、阿部会長と片桐副会長が激励に訪問しました。

⑦第49回全国中学校大会(8/22~25)

女子:陽南中 予選リーグ

⑧第74回国体関東ブロック大会

今年度よりストレート種目がなくなり少年・成年種別ともに関東ブロックにおいて出場権を獲得しなければ、本国体に参加することができなくなりました。少年種別は、U16(高校1年生中心)となり関東出場枠が4、6年目に3枠となるローテーション(6年周期)、成年種別については、今年は出場枠2、来年は3枠、以後この繰り返しとなります。栃木県バスケットボール協会では、現少年種別の選手が小学校5年生の時より、少年種別の関東ブロック突破を目指すプロジェクトチームを編成して育成・強化に努めてまいりました。関東1都7県が注目する今回の大会で、育成・強化の甲斐あって、当初の目標であった「少年種別関東ブロック突破」を男女ともに達成させました。2022年第77回栃木国体に向けて、成年種別の強化や少年種別選手の発掘・育成・強化に努めていきます。

- ア 成年男子:1回戦(対山梨県)
- イ 成年女子:2回戦(対山梨県)
- ウ 少年男子

初戦は、東京都と対戦をものにし準決勝に進出した。準決勝では神奈川県に敗退、翌日の敗者復活戦で埼玉県を破り茨城国体出場を決めた。(3位決定戦では、再度東京都と対戦敗れて4位となった。)



茨城国体に出場を決めた少年男子チーム

エ 少年女子

初戦は、山梨県と対戦をものにし準決勝に進出した。準決勝では千葉県に敗退、翌日の敗者復活戦で神奈川県を破り茨城国体出場を決めた。(3位決定戦では、群馬県を破り3位となった。)



茨城国体に出場を決めた少年女子チーム

阿部会長：栃木県少年男女がそろって関東ブロックを勝ち抜いたのは快挙である。これも偏に選手諸君の鍛錬の賜物であり、関係した方々に感謝する。

(3) 3×3

①第5回3×3OPEN全日本選手権栃木県予選会(2/24)

男子:優勝 UIS 2位 Silver Backs
3位 日光PHOENIX LEGENDS 4位 PINK

※優勝チームは、2020年2月に開催される全国選手権大会へ出場

②第2回U12栃木県大会(2/24)

男子:優勝 五代新田 2位 A&M&G
3位 reVet 4位 栃木ドリーム
女子:1位トーナメント 1位 PHOENIX GIRL
2位トーナメント 1位 Champiomバディーズ
3位トーナメント 1位 ガルガール

③FIBA3×3World Tour UTSUNOMIYA Final 2019

開催記念 U12宇都宮市長杯栃木県大会(7/21・22)
男子:優勝 ゴッドsakanayas 2位 HONDAトラペラーズ
3位 SUGATAGAWA II-TeamA

女子:優勝 TEAM RABBITS 2位 TEAM GREEN HILLS
3位 COMETS'のマーチ、QUEEN of Buddy's

※男女とも、上位2チームは「World Tour UTSUNOMIYA Final」の前座試合として行われる決勝戦に出場

3 「チームとちぎジュニア選手」認定証授与式

9月1日(日)に、県教育会館において、第77回栃木国体少年種別において活躍が期待される「チームとちぎジュニア選手」の認定証授与式が行われました。

栃木県バスケットボール協会として、U12・13の育成強化候補選手の中から27名を推薦しました。式では、岡本誠司県副知事から各競技の代表者に認定証が渡され、バスケット競技では陽南中の齋田夢良さんが代表として授与されました。



認定式後には、宇都宮BREXの田臥選手の特別講演があり、選手たちは目を輝かせて田臥選手の言葉に聞き入っていました。「初歩的なことに手を抜かない」「体が小さくても自分にしかできないことを探る」など、田臥選手成功の秘訣を話し、選手たちにエールを送っていました。後援の終盤には、



バスケットから代表3人を壇上にあげ、ハンドリングやドリブルの指導もあり選手たちは緊張した面持ちでした。

代表として認定賞を授与された齋田さんは「優勝を目指して頑張ろうと気持ちが高まった。」とまた、実技指導を受けた、鹿東中の石塚光晟君は「憧れの田臥選手を前に緊張したけれど、とてもいい経験ができた」と記者のインタビューに話していました。

4 FIBAワールドカップ出場全日本男子壮行会



7月30日(火)にパレスホテル東京において、FIBAワールドカップに出場する全日本男子の壮行会が行われました。宇都宮BREXからは、比江島慎選手と竹内公輔選手が選出され、「日本一丸」となって戦うと、決意を述べていました。